

つなぐ



袋井特別支援学校
支援連携課便り ②
令和6年12月16日

本年もあと半月となりました。11月に行われた光る子まつりでは、保護者の皆様、地域の皆様など、たくさんの方に来校いただき、子どもたちの「光る姿」を見ていただくことができました。

「つなぐ」第2号となる今回は、放課後等デイサービスや地域の幼・小・中・高等学校との関わりの様子をお知らせします。

特別支援教育コーディネーターより

おすぶ

つなぐ

わたす



袋井特別支援学校では、令和3年3月に袋井市教育委員会と提携し、「コンサルタント制度」を運用しています。この制度は、袋井特別支援学校の特別支援教育コーディネーターが、市内の幼小中学校の要請に対して直接学校へ訪問し、特別支援教育に関する悩み事や困り事の相談に応じています。今年度は磐田市からも要請を受けています。11月現在、市内・市外から9校、延べ18件の要請があり、訪問しました。

また、必要に応じて相談支援事業所や市町福祉課と連携しています。今後も本校の児童生徒、保護者の皆様が地域で安心して生活していけるよう、サポートしていきます。

保護者の皆様向けに、相談窓口も開設しています。心配事等ありましたら、ぜひお気軽に相談窓口「つなぐ」を御利用下さい。👉

保護者相談窓口「つなぐ」

本校では、保護者のみなさんの悩みや心配事の相談窓口として「つなぐ」を開設しています。学校や家庭での様子、心身の発達のことなどについての相談活動をとおして、保護者の皆様が安心して子育てに向かえるようサポートしています。HPに申込用紙があります。お気軽に御相談ください。

👉QRコードからどうぞ👈



放課後等デイサービスとの連携

放課後等デイサービスの利用は、保護者と事業所との契約で成り立っています。学校としても、保護者⇄事業所、保護者⇄学校の連携を確実にいき、これからもスムーズな引き渡しが行えるよう日々努力していきます。＜保護者の皆様にお願ひ＞

下校時刻を事業所に伝えるのを忘れないようにしてください。また、事業所で利用するものについては、荷物の取り間違い防止、保管スペース等の観点から、学校に保管しておくことは遠慮いただいております。放デイで利用する荷物については、家庭でその都度記名した別袋に入れて、リュックに入れるなどして持たせてください。荷物が多い場合は、直接各自で放デイに届けるなどの配慮をお願いいたします。

交流及び共同学習

学校所在地域における交流および共同学習（学校間交流）

●小学部の実績

月日	交流学年	交流先	内容
10月8日(火)	4年生	高南小 4年生	高南小でグループに分かれてゲームコーナーに参加
10月8日(火)	5年生	浅羽北小 4年生	本校でグループに分かれてゲームコーナーを運営
11月1日(金)	6年生	高南小 6年生	・本校で実施 本校：修学旅行の報告会 高南小：運動会での演技(フラッグ)合唱披露
11月20日(水) 11月21日(木)	4年生	高南小 4年生	本校でグループに分かれてゲームコーナーを運営(高南小4年生が2日間に分かれて来校)
11月26日(火)	5年生	浅羽北小 4年生	浅羽北小でポッチャとボーリングに参加
12月6日(金)	6年生	高南小 6年生	高南小で実施予定

●中学部の実績

月日	交流学年	交流先	内容
9月19日(木)	全学年	袋井南中 3年生	レクリエーション
10月23日(水)	全学年	袋井南中 2年生	合唱鑑賞

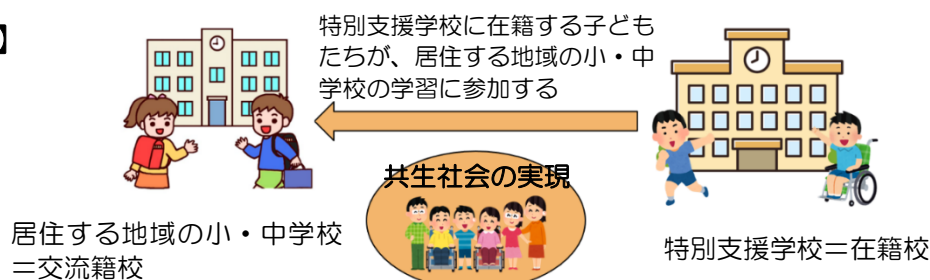
●高等部の実績

月日	交流学年	交流先	内容
6月28日(金)	1年生	袋井高校 美術部	美術作品の共同制作
11月28日(木)	全学年	袋井商業高校 吹奏楽部	吹奏楽部によるコンサート

「交流籍」を活用した交流及び共同学習

「交流籍」を活用し、特別支援学校の児童生徒が、居住する地域の小・中学校での交流及び共同学習を行います。今年度は、小学校20校、中学校9校で実施中です。

【仕組み】



【交流籍とは】

特別支援学校の児童生徒に対する「地域の子ども」としての周囲の理解をこれまで以上に深めることを目指し、居住する地域の小・中学校に副次的な籍を置いています。この副次的な籍を静岡県では「交流籍」と呼んでいます。

【目的】

「交流籍」を活用した交流及び共同学習では、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒と一緒に参加し、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育む交流の側面と、教科等のねらいを達成する共同学習の側面を目的にしています。（特別支援学校学習指導要領総則より）障害のない児童生徒は、豊かな人間性、心のユニバーサルデザイン、心のバリアフリーを育み、障害のある児童生徒は、地域との関係を深めることや、地域・社会で自立できる自信と力を育むことができます。

【活動内容】

学級活動や道徳の授業で、ボウリング、ポッチャ、フルーツバスケット、交流籍校児童が考えたレクリエーションに取り組みました。また音楽では、隣の交流籍校児童が見る教科書と同じページを開いたり、リコーダー演奏を聴いたりしながら参加する姿が見られました。実施数や実施した感想は、次号でお伝えします。

★コミュニティスクールだよりも是非ご覧ください★